

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www4.tokai.or.jp/Junya_susono/

議会報告会を終えて

毎年1回以上開催する事になっている議員主催の議会報告会。今回は5月19日と25日の2日間、それぞれ3会場で実施しました。2時間の内、前半は予算の報告、後半は「公共交通の在り方」をテーマとした意見交換を実施。昨年の「19時開始では遅すぎる」との意見を反映して18時から開始としましたが、帰宅ラッシュや子どもの迎え、家事の時間と重なり、参加数は極少数に留まってしまいました。転んで何も拾えない状況が多い議会ですが、それでも慣例にとらわれることなく、変えていこうとしております。今後も忌憚のないご意見を宜しくお願い致します。

6月定例会が開催されました。

■一般会計補正予算（第2回、第3回）

3月の予算確定時点で盛り込まれていた地方創生に伴う交付金が、要件見直しにより、「新たに実施する事業のみが対象」となっていました。市が計画していたものは、継続事業であったが、対象外。結果的に申請を断念することに。しかし、今必要な事業ばかり。そこで、事業に対して見込んでいた+α分は取りやめますが、事業そのものは市の基金を取り崩し実施することになりました。

※基金の取り崩しです、絶対に効果を出す様しっかり取り組んで欲しいと思います。



交付金



2-⑤耐震改修に向けた実施設計費用

深良中学校舎と東中昇降口棟は、耐震性に劣るという判定がされており、早急に対応する為設計に入るというもの。この他、富二小の体育館と富中の格技場が同様の指摘をされています。財政が厳しい状況ですが、校舎の安全を優先し、前者2校に着手することが決定。

第3回補正は、市内各団体・個人からの寄付によるもの。寄付者の意向に従って、吹奏楽器の購入や市の記録写真の保存に役立てるものです。温かいご寄付に感謝申し上げます。

■条例案件の、気になるもの。。。。

子ども子育て会議により、市内の幼児施設整備構想では、一元化、子ども園化、民営化に方向付けられています。民営化に向けて、まず御宿台保育園に指定管理者制度が導入されることになりました。平成30年4月から実施できるよう準備が進められます。保育園、支援センター、北児童館が包括して移管されます。ぜひ質は落とさず、且つ特徴的な事業が展開されることに期待したいと思います。

※現在の職員が、他園に分散配置できる為、定員を増やす事に繋がることも期待されています。

■報告案件に、気になるものが。。。。

●自動車事故が多い！

自動車接触事故や脱輪などの報告を受けますが、今回人身事故の報告がありました。通学バスの陰から飛び出した児童との接触。幸い打撲で済んだようです。でも！市民からの税金で購入した車両を運転し税金を納める市民に怪我を負わせる事などあってはならないこと。年間の自動車事故にかかる修繕費等も多すぎです。運転者への注意や技術に依存するの



ではなく、運転者に注意を促す設備を導入し、運転者を監視・補佐することも、必要だと思い、質疑の中で必要性を訴えました。この実施は継続監視したいと思います。

★★ 活動報告会のお知らせ ★★

私も一般質問で取り上げた国道246沿線の状況や、岩波駅周辺の活性化、取り組みが始まった北部地域（富岡地区）の目指す所などにつき、報告させて頂き、意見交換したいと思います。

お待ちしております！

時： 7月28日（木） 18時～19時

場所： 矢崎総業Y-CITY WHQ内

第一ホール

問合せ： 中村じゅんや後援会事務所

055-997-1336（阿久根）

■一般質問 (見直すモノ、活用するモノ)

長年にわたり税金が投入され続けているものがあります。当然市民生活において最低限の生活を送る為の施策は当たり前ですが、時としてある時代において、その時必要だという判断のもと実施されたものが未だに継続されており、その効果が得られない、あるいは未検証のもの。また、何かに活用できるはずなのにそれに着手せず、あるいは後回しにしてしまい、活用する機会を逃してしまうなど。それらは本当に今も必要なののでしょうか？最大限の活用を逃すというのは、税金の使い方として良いのでしょうか？

今回、私の一般質問では、①「今動いている事業をどう活用するか」②「十分な活用ができなかった事業の一つを取り上げ、これからどのように取り組むのか」について問いました。

①国道246号の深良上原交差点(三条周辺)で進められている圃(ほ)場整備を、市として積極的に活用する為、内陸フロンティア申請に着手しよう！



三島の功のワーク(吊り橋)は、この手法を使い規制緩和を可能にして、今人気となっている。同じ手法で裾野の国道沿いに産直センターなど誘導して、活気付くよう！という視点。

Q1. 県が進めている圃場は、富士山の景観も良く、整備後に広がる田園風景と併せ、観光と産業の融合に最適な場所。内陸フロンティアとして申請し、新たな魅力創出の場として活用しては？

A. 国道脇という立地を見て地域産業の育成を図っていく予定はあるが、内陸フロンティアの指定については現在考えていない。

Q2. 他の手法による産業と観光視点の整備を行う予定はないのか？

A. 地域柄、法令規制があり難しいが、農業施設の基盤整備を行いつつ、地域活性化の整備手法の活用を検討していきたい。

②姉妹都市の資源を最大限に活用しよう！

市内企業のグローバル化や外国人観光客の増加を鑑みて、フランクストンは勿論、もっと海外の資源を政策的に活用していこう！という視点。

Q1. 姉妹都市のこれまでの活用と、34年の関係継続に貢献してきた海外友好協会へ期待は？

A. イベントへの関与はあったが、政策的活用は少なかった。友好協会には、今後も様々な地域や国との交流に力を貸してほしい。

Q2. 様々な国の資源を政策的に活用するには、市の積極的な関わりが必要不可欠。新たな姉妹都市提携や庁内の組織体制の再構築は考えないか？

A. 新たな姉妹都市提携は考えていないが、様々な国との交流や活用は必要と考えている。庁内組織体制について具体的に検討はしていないが、国際交流について市民協働の視点を持って進めていきたいと考えている。



想像してみてください。田園風景と富士山を眺める外国人観光客に裾野の観光スポットを尋ねられ、おどおどしている大人。その傍らで、学校の英語授業で習った地元の良い所をスラスラと答える子どもの姿を。裾野fanである友好都市の教師視点は、観光ガイドの題材としても活用可能。「英語力」+「地元を深く知る」+「愛着」+α・・・特徴的な外国語講師への活用も、その一つではないでしょうか。

各種活動のご紹介

矢崎議員団会議&視察
(富士山エコパーク：焼却所)



嶽南ふるさと企画

7月31日熊本支援チャリティイベントに向け準備中！
会場は富岡コミセンです。
ご来場お待ちしております。

フェイスブックもご覧下さいませ！

姉妹都市でホームステイを体験。
フェスティバルにてホストと共に。



全矢崎労組と共にパノラマロード播種作業に参加